



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

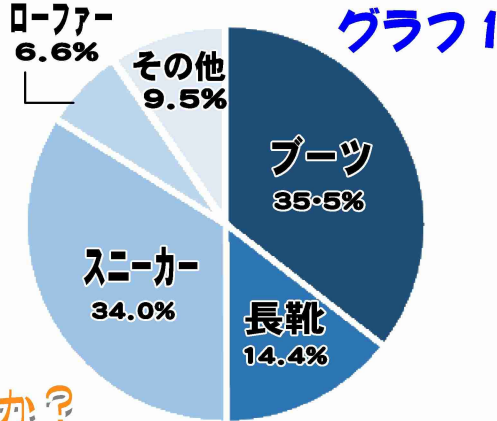
新聞部

彦根市金亀町4番7号

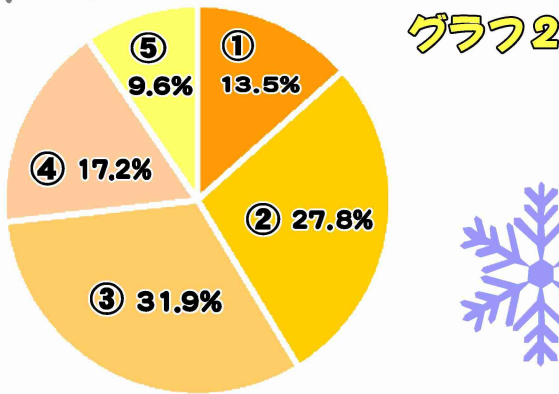
# 雪の日の靴事情



雪が降っている日には  
どの種類の靴を履いていますか？



靴の長さは  
どのくらいですか？



本校の1・2年生577人に冬場の靴の種類と丈の長さについてアンケートを行った。今回のキマグレではその結果を紹介する。

## 雪の日の靴の種類

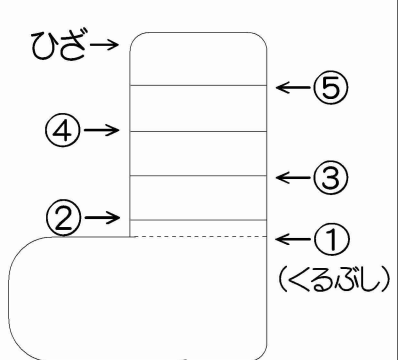
### 靴の種類

アンケートでは「雪が降っている日にはどの種類の靴を履いていますか？」という質問をした。「ブーツ」と答えた人は35・5%、「スニーカー」と答えた人は34・4%、「長靴」と答えた人は14・4%、「その他」と答えた人は9・6%、「その他」と答えた人は6・6%、「その他」と答えた人は9・5%となり、ブーツと長靴が半数を占めるといふ結果となった(グラフ1)。

本校生では電車通学の割合が大きく、電車通学生は駅と学校の間を歩く。駅からの通学路にも雪が積もるため、雪が少ない地域に住んでいてもブーツなどの雪靴を履いている人がいると思われる。

### 靴の丈の長さは？

また前の質問でブーツ、長靴、その他を選択した人に「その靴の長さはどのくらいですか？」という質問を行い、



右の図の番号を選択してもらった。この質問に①と答えた人は13・5%、②と答えた人は27・8%、③と答えた人は31・9%、④と答えた人は17・2%、⑤と答えた人は9・6%となった(グラフ2)。

この結果に地域差はほとんどなかったが、男子よりも女子の方が靴の丈が長い人が多いことがわかった。丈が短いと雪が入ってしまうが、逆に長すぎると歩きにくいという点や、今年の彦根市の最大降雪量は22センチメートルだったことから、地面から約20センチメートルの丈の雪靴がちょうど良いことがわかる。また通学時はブーツなどの雪靴を履くが、学校ではローファーやスニーカーに履きかえるという工夫をしている人も多い。丈が長いと動きにくいためそのような工夫はとても有効的である。